

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

※※2004年3月改訂(第5版、自主改訂)

※2003年5月改訂(第4版、自主改訂)

貯 法：しゃ光・気密容器
使用期限：容器、外箱に表示

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)3256
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

■ 57 ■

漢方製剤

ツムラ^{ウン セイ イン}温清飲エキス顆粒(医療用)

【組成・性状】

組 成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75gを含有する。	
	日局ジオウ……………3.0g	日局オウゴン……………1.5g
	日局シャクヤク……………3.0g	日局オウバク……………1.5g
	日局センキュウ……………3.0g	日局オウレン……………1.5g
	日局トウキ……………3.0g	日局サンシシ……………1.5g
性 状	添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖
	剤 形	顆粒剤
	色	黄かっ色
	におい	特異なにおい
	味	苦味
	識別コード	ツムラ／57

【効能又は効果】

皮膚の色つやが悪く、のぼせるものに用いる：
月経不順、月経困難、血の道症、更年期障害、神経症

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
 - 著しく胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。〕
 - 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者〔これらの症状が悪化するおそれがある。〕
- 重要な基本的注意
 - 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
 - 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
- 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。
 - 重大な副作用
肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
 - その他の副作用
※※1)過敏症：発疹、発赤等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
2)消化器：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。
- 高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与
妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
- 小児等への投与
小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

※【包 装】

500g、5kg(500g×10)、2.5g×42包、2.5g×189包

【文献請求先】

株式会社ツムラ 商品情報センター
東京都千代田区二番町12番地7 〒102-8422

 株式会社ツムラ
東京都中央区日本橋3-4-10

